

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	テラヘルツ高強度場物理を基盤とした非線形フォトエレクトロニクスの新展開
研究代表者	田中 耕一郎 (京都大学・理学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、低次元電子材料系におけるテラヘルツ帯の非線形光学効果（特に高調波発生）の機構を解明することを目的とし、非線形フォトエレクトロニクスという新たな学際領域を発展させることを目指している。</p> <p>応募者は、この分野で世界に先駆けた優れた業績を上げてきており、国際的にも評価が高い。現時点では、非線形フォトエレクトロニクスへ向けた仕分け的な研究段階で、その本質であるクロス現象を前面に打ち出したものではないが、最終目標を意識した着実な研究計画であり、重要な研究成果が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>